

いわやぎょこう ぎょそんしゅうらく 岩屋漁港と漁村集落

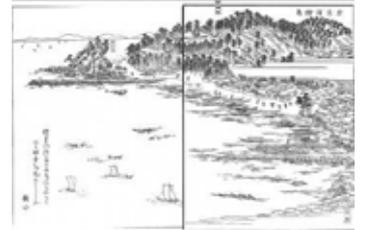
所在地：淡路市 岩屋



岩屋漁港と明石海峡大橋



岩屋集落と茶間川



淡路國名所図絵「岩屋浦」



岩屋全景 提供：絵葉書資料館

岩屋港は、淡路島の北の玄関口として古くから栄えた港で、現在も高速船の発着場所として島内交通の拠点となっています。また、桜ダイやタコ、イカナゴなど淡路島を代表する海産物が多く水揚げされる島内有数の漁港でもあります。

漁村集落として発達してきた岩屋の面影は、路地に家屋が密集している町並みや、浜（航海安全、大漁祈願の神として信仰されている住吉神社を中心とした漁師組織）毎で異なる漁法と漁具などから感じることができます。

現在も、集落を流れる茶間川での昆布の陰干しや露天商など、生業と生活が一体となった豊かな景観を感じることができます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから、国道28号北上、車で10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図